

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2023年7月13日
【四半期会計期間】	第42期第1四半期（自 2023年3月1日 至 2023年5月31日）
【会社名】	スギホールディングス株式会社
【英訳名】	SUGI HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉浦 克典
【本店の所在の場所】	愛知県安城市三河安城町一丁目8番地4 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」 で行っております。)
【電話番号】	0566(73)6300
【事務連絡者氏名】	経営企画室長 笠井 真
【最寄りの連絡場所】	愛知県大府市横根町新江62番地の1
【電話番号】	0562(45)2744
【事務連絡者氏名】	経営企画室長 笠井 真
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第1四半期連結 累計期間	第42期 第1四半期連結 累計期間	第41期
会計期間	自2022年3月1日 至2022年5月31日	自2023年3月1日 至2023年5月31日	自2022年3月1日 至2023年2月28日
売上高 (百万円)	161,128	177,851	667,647
経常利益 (百万円)	6,806	8,303	32,391
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	4,608	5,563	19,007
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	4,233	5,581	18,842
純資産額 (百万円)	213,285	219,707	216,538
総資産額 (百万円)	348,487	366,143	351,895
1株当たり四半期(当期)純利 益 (円)	74.56	92.24	311.45
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	61.2	60.0	61.5

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間（2023年3月1日～2023年5月31日）におけるわが国経済は、経済活動の正常化を背景に内需を中心とした緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方、先行きにつきましては、海外経済の減速懸念、国内においては、継続する物価上昇による消費の減退懸念など不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、薬価および一部調剤報酬改定による処方せん単価の下落、新型コロナウイルス感染症の沈静化に伴う関連商品の売上減少、店舗数の増加による異業種・同業種間の競争激化など、当社グループを取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような環境のもと、調剤領域の強化におきましては、利用者数が100万人を突破したかかりつけ薬局アプリの更なるダウンロード促進、調剤室・調剤待合室の拡張改装などの売上強化に加え、対人業務強化を目的としたきめの細かい人材の適正配置や薬剤師および医療事務の採用強化などに努めました。

物販領域におきましては、1月にリニューアルしたスギ薬局アプリの会員獲得強化、一人ひとりのお客様に合わせた最適な販促施策の実施、食品売場の拡大改装の促進、各種インバウンド対応の実施および今後の成長に向けた人材の獲得強化に取り組みました。

店舗の出退店などにつきましては、関東・中部・関西・北陸エリアでのドミナント構築に向けて24店舗の新規出店と1店舗の閉店を実施するとともに、既存店の競争力強化に向けて82店舗の改装を実施いたしました。これにより、当第1四半期末における店舗数は1,588店舗となりました。

以上の結果、売上高は1,778億51百万円（前年同期比10.4%増、167億23百万円増）、売上総利益は529億92百万円（同11.6%増、54億94百万円増）、販売費及び一般管理費は452億14百万円（同10.7%増、43億88百万円増）、営業利益は77億78百万円（同16.6%増、11億6百万円増）、経常利益は83億3百万円（同22.0%増、14億97百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億63百万円（同20.7%増、9億55百万円増）となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントですので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ142億47百万円増加し、3,661億43百万円（前連結会計年度末は3,518億95百万円）となりました。これは主に売掛金、商品、建物及び構築物が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ110億79百万円増加し、1,464億36百万円（前連結会計年度末は1,353億56百万円）となりました。これは主に買掛金、賞与引当金、退職給付に係る負債が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ31億68百万円増加し、2,197億7百万円（前連結会計年度末は2,165億38百万円）となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.0%となりました。

(3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (2023年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2023年7月13日)	上場金融商品取引所名 または登録認可金融商 品取引業協会名	内容
普通株式	63,330,838	63,330,838	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミアム市場	単元株式数 100株
計	63,330,838	63,330,838	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2023年3月1日～ 2023年5月31日	-	63,330,838	-	15,434	-	24,632

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2023年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2023年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,014,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 60,277,800	602,778	-
単元未満株式	普通株式 38,738	-	-
発行済株式総数	63,330,838	-	-
総株主の議決権	-	602,778	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が400株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数4個が含まれております。

【自己株式等】

2023年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
スギホールディングス株式会社	愛知県安城市三河安城町一丁目8番地4	3,014,300	-	3,014,300	4.75
計	-	3,014,300	-	3,014,300	4.75

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の自己名義所有株式数は3,014,373株、その発行済株式総数に対する所有株式数の割合は4.75%となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2023年3月1日から2023年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2023年3月1日から2023年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,642	55,664
売掛金	37,514	42,590
有価証券	8,000	8,000
商品	74,503	78,007
その他	17,324	11,517
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	199,984	195,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	68,510	70,133
その他(純額)	23,402	27,781
有形固定資産合計	91,913	97,915
無形固定資産	8,121	8,558
投資その他の資産		
差入保証金	28,902	29,077
その他	23,001	34,841
貸倒引当金	27	27
投資その他の資産合計	51,876	63,891
固定資産合計	151,911	170,364
資産合計	351,895	366,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,038	86,328
未払法人税等	4,981	1,904
賞与引当金	1,488	3,824
その他	33,506	35,776
流動負債合計	117,015	127,832
固定負債		
退職給付に係る負債	8,282	8,486
資産除去債務	7,063	7,133
その他	2,995	2,983
固定負債合計	18,341	18,603
負債合計	135,356	146,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,434	15,434
資本剰余金	24,632	24,632
利益剰余金	194,155	197,307
自己株式	18,215	18,215
株主資本合計	216,007	219,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378	393
退職給付に係る調整累計額	153	155
その他の包括利益累計額合計	531	548
純資産合計	216,538	219,707
負債純資産合計	351,895	366,143

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	161,128	177,851
売上原価	113,630	124,859
売上総利益	47,497	52,992
販売費及び一般管理費	40,826	45,214
営業利益	6,671	7,778
営業外収益		
固定資産受贈益	60	315
受取賃貸料	480	493
その他	217	272
営業外収益合計	759	1,080
営業外費用		
賃貸収入原価	415	424
その他	208	130
営業外費用合計	624	555
経常利益	6,806	8,303
特別損失		
減損損失	2	130
特別損失合計	2	130
税金等調整前四半期純利益	6,804	8,173
法人税、住民税及び事業税	2,600	3,283
法人税等調整額	404	673
法人税等合計	2,195	2,609
四半期純利益	4,608	5,563
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,608	5,563

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	4,608	5,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	402	15
退職給付に係る調整額	27	1
その他の包括利益合計	374	17
四半期包括利益	4,233	5,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,233	5,581

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるスギメディカル株式会社が株式会社Comedi Csの全株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社および一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税および地方法人税ならびに税効果会計の会計処理および開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産および長期前払費用に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
減価償却費	2,878百万円	3,237百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年4月5日 取締役会	普通株式	2,472	40	2022年2月28日	2022年5月23日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年4月4日 取締役会	普通株式	2,412	40	2023年2月28日	2023年5月31日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは「ドラッグストア・調剤事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年5月31日)

区分		金額(百万円)
物販	ヘルスケア	31,284
	ビューティ	26,918
	ホーム	30,192
	フーズ	35,612
	その他	313
	小計	124,322
調剤		35,451
その他収入		1,354
顧客との契約から生じる収益		161,128

当第1四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年5月31日)

区分		金額(百万円)
物販	ヘルスケア	34,233
	ビューティ	30,463
	ホーム	32,534
	フーズ	39,954
	その他	274
	小計	137,460
調剤		38,901
その他収入		1,489
顧客との契約から生じる収益		177,851

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
1株当たり四半期純利益	74円56銭	92円24銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	4,608	5,563
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	4,608	5,563
普通株式の期中平均株式数(千株)	61,813	60,316

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(株式取得による持分法適用会社化)

当社は、2023年6月16日付の取締役会において、日本ホスピスホールディングス株式会社の株式を取得することを決議するとともに、同社との間で資本業務提携契約を締結し、2023年7月3日に株式を取得しました。これにより同社は、当社の持分法適用関連会社となる予定です。

(1) 目的

本資本業務提携によって両社グループの協力関係を一層強化し、ホスピス住宅事業の展開の促進を図るとともに、入院・外来から、居宅における在宅医療・介護、その後のホスピス住宅における在宅医療・介護までの患者様体験を一気通貫でサポートする体制を構築することで利用者の満足度を高め、両社の企業価値の向上を図ることを目的としております。

(2) 株式取得する会社の概要

名称： 日本ホスピスホールディングス株式会社
所在地： 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
代表者の役職・氏名： 代表取締役社長 高橋 正
事業内容： 在宅ホスピス事業等
資本金： 372,680千円(2023年3月31日現在)
設立年月日： 2017年1月4日

(3) 株式取得の時期

2023年7月3日

(4) 取得する株式の数、取得価額および取得後の持分比率

取得株式数： 1,600,000株
取得価額： 5,081百万円
取得後の持分比率： 19.91%

(5) 支払資金の調達および支払方法

自己資金

(合併会社の設立)

当社は、ALPRO ALLIANCE SDN.BHD.と共同出資を行い、新会社「ALPRO SUGI VENTURE SDN.BHD.」を設立いたしました。なお、当該合併会社は当社の持分法適用関連会社となります。

(1) 合併会社設立の目的

当社は、2022年7月6日にALPRO PHARMACY SDN.BHD.と業務提携以降、様々なコラボレーションを進めておりましたが、この度、両社の事業展開をより一層推進することを目的に、ALPRO PHARMACY SDN.BHD.のグループ会社であるALPRO ALLIANCE SDN.BHD.と合併会社「ALPRO SUGI VENTURE SDN.BHD.」を設立いたしました。

(2) 設立した合併会社の概要

名称： ALPRO SUGI VENTURE SDN.BHD.
所在地： マレーシア
代表者： the managing director Low Swee Siong
事業内容： ドラッグストア事業

(3) 設立年月日

2023年7月10日

(4) 取得する株式の数、取得価額および取得後の持分比率

取得株式数： 11,255,000株
取得価額： 11,255,000マレーシアリングgit
取得後の持分比率： 25.1%

2 【その他】

(剰余金の配当)

2023年4月4日開催の取締役会において、剰余金の配当につき次のとおり決議いたしました。

- | | |
|----------------|------------|
| (1) 配当金の総額 | 2,412百万円 |
| (2) 1株当たり配当金 | 40円00銭 |
| (3) 基準日 | 2023年2月28日 |
| (4) 効力発生日 | 2023年5月31日 |

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2023年7月13日

スギホールディングス株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
名古屋事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 晴久

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 牧野 秀俊

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスギホールディングス株式会社の2023年3月1日から2024年2月29日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2023年3月1日から2023年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2023年3月1日から2023年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、スギホールディングス株式会社及び連結子会社の2023年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。